

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	文学A		
英文授業科目名	Literature A		
開講年度	2004年度	開講年次	1, 2年次
開講学期	1, 3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>日本文学には、よく似た作りの作品が多い。すなわち、大きなパターンがある。その類型性に注目し、抽出する作業を通して、日本人の伝統的な物の考え方を明らかにする。ストーリーのパターン、よく使われる素材、キャラクターの特性、主題の共通性など、あらゆる面で、パターンを発見したい。具体的には、「宝探し」「自分探し」の物語構造である。</p> <p>諸君が、講義者の分析手法をマスターして、自分で『バガボンド』などを分析できるようになれば、ベスト。</p> <p>講義で具体的に取り上げるのは、古代神話（スサノオ）、王朝物語（『源氏物語』など）・御伽草子（浦島太郎など）・江戸期の『八犬伝』、そして明治初期の歴史小説である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特に、なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特に、なし。

【教科書等】
教科書：島内景二著『歴史小説真剣勝負』（新人物往来社）

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初に、数回程度の「文学入門」。文学は堅苦しくなく、楽しいということを伝えたい。
そのあとは、神話・物語・御伽草子・八犬伝を、6回程度で説明する。
残りで、明治初期の文豪達がどのような歴史小説を書いたか、そこにはどんな思いが込められているかを講義する。
教科書を用いて要点を説明し、教科書に書いていないことを補足するので、必ず教科書を講義に持参すること。また、試験までに必ず一度は、教科書を読むこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランク下げる。また、何回か出席を取る。
この講義に出て諸君が初めて獲得した知識がどれだけあるか、この講義に触発されて諸君がとれだけ思索したか、その点を考慮して採点する。常識だけ書いても、不可。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

歴史小説の醍醐味は、神話や物語や御伽草子などの「伝統」を知ること、真に理解できる。そして、自分が現代社会で考えていることが、既に過去の時代の歴史小説に書かれているという発見が待ち受けていることだろう。
文学は、果たして古代から現代までの間に、進化したのか。人は、果たして進歩したのか。ほかならぬ自分自身は、どのような人生を生きてゆきたいのか。その参考となるのが、歴史小説の登場人物の中にもないだろうか。興味を持って、受講してほしい。

【その他】